

## 第 38 回理事会議事録

1. 日時 : 2017 年 1 月 27 日 (金) 午後 6 時 30 分～8 時 20 分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者:【理事 11 名】 細田博之、鳩山勝郎、伊藤直彦、齋藤陽子、浅越ことみ、  
ロバート・ゲラー、清水康裕、寺本直志、山田和彦、吉田正、  
大橋正幸  
【欠席 1 名】 橋本公二  
【監事 2 名】 久保公人、成田秀則  
【事務局 4 名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人管理部長、  
鈴木正人競技会事業部長代行、高野英樹普及事業部長  
(理事現在数: 12 名、定足数 7 名、本人出席 11 名)

### 4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 37 回理事会議事録の承認について  
議事録案を承認した。

第 2 号議案 会員の退会について  
会員 1 名からの会員辞退届の提出及び会員 1 名の逝去の報告があった。  
退会: 藤田公郎 (会員番号 174037、名誉会員、前会長)  
逝去: 小林石根 (会員番号 8844、12 月 10 日)

第 3 号議案 平成 29 (2017) 年度予算案および事業計画について  
山田企画委員長より 1 月企画委員会で来年度予算案を検討した内容について以下の説明があった。  
2017 年度は NEC ブリッジフェスティバル非開催年にあたるため開催年の赤字予算をカバーできる程度の黒字予算が本来は望ましいが、2016 年度決算が予算より改善される見通しであることも踏まえて、プラス 100 万円程度の黒字予算を目標として調整を行った。今後も引き続き管理費の精査を行う。  
大政管理部長より 1 月企画委員会以降の来年度予算案の修正について以下の説明があった。  
会員の更新率を約 95%程度の例年並みの数字とした。世界選手権の代表派遣費用を途中敗退の可能性を織り込んだ平均値とした。その結果全体収支が 1 月企画委員会時点のプラス 100 万円より黒字が減少し、プラス 10 万円の予算案となった。

鳩山会長代行より連盟事務局の体制移行のための経費が今年度及び来年度に発生することを考慮すれば、来年度予算案のプラス 10 万円の数字はレベル的に許容できる範囲ではないかとの発言があった。

伊藤理事より会員継続率及びその向上のための施策について発言があったが、新入会キャンペーンによるいくらかの未更新者の発生はやむを得ないこと、会員数は過去約 30 年間にわたり増加し続けていること、及び高齢化による退会が一定数みられることから、現状の会員継続率に問題はないとした。

伊藤理事より普及事業部の予算が昨年より大幅に減少していることについて質問があり、例年は多少余裕を持ってたてていたが来年度は実績値に近づけたとの回答があった。

久保監事より JOC の準加盟団体になれば国際遠征費などの助成を受けることが可能であるとの説明があり、代表選抜委員会と普及事業部が連携して加盟に向けた準備を行っていくこととした。

予算案については作成方針を了承し、引き続き管理費などの精査を行い、3 月の企画委員会で最終調整を行う。

事業計画については修正点があれば 2 月上旬までに事務局に連絡するものとし、その後事務局で細部を練り上げた上で 3 月の企画委員会に提出することとした。

#### 第 4 号議案 各委員会及び事業部報告

##### 1. 企画委員会

山田企画委員長より IMP リーグのマスターポイントの平日係数の撤廃及び 5 試合の IMP リーグの出場回数を現行の 2.5 試合以上から 2 試合以上へ緩和することを決定し、会員・会友に周知するため次回会報に掲載するとの説明があった。

##### 2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より非会員の公認料及び連盟主催競技会参加料の一部変更に関するお知らせと告知用ポスターを各センター・クラブに送付したとの報告があった。

##### 3. 代表選抜委員会

大政管理部長より第 51 回 APBF 選手権シニア日本代表選抜試合への下記 2 チームの招待及び APBF 選手権参加の助成内容について提案があり、これを承認した。

山田彰彦、大野京子、井野正行、今倉正史、山田和彦、大政哲人（代表：大政哲人）

阿部弘也、佐藤春芳、宮国健次、前田尚志、田多井菊雄、太田裕子（代表：阿部弘也）

#### 4. 競技委員会

寺本競技委員長より今年の藤山杯は従来の予選・決勝の試合形式を改め 2 日間の 4 セッションゲームとするとの説明があった。藤山杯のフライト数を増やす提案が出されたが、4 セッションゲームの進行上の都合に配慮し従来通りとした。

清水理事よりブルーリボンのマスターポイントの増加及び日本リーグ 2 部の所属チーム数の削減が提案され、競技委員会で検討することとした。

#### 5. ルール委員会

清水ルール委員長より以下の 4 名をルール委員とする提案があり、これを承認した。

ゲラー・ロバート、宮内宏、長坂整、松田伸一

#### 6. 普及事業部

高野普及事業部長より 2017 年春優待券進呈キャンペーンの実施について説明があり、これを確認した。第 51 回 APBF 選手権ユース代表選考会の結果が報告され、ユース代表メンバー及びグレード I での派遣を承認した。

#### 7. 競技会事業部

ゲラー理事より第 21 回 NEC 杯の国外からの参加状況の報告があり、中国、韓国を中心とした多数のチームが参加するとの説明があった。

**BridgeMate** の周波数変更の今後の進め方について報告があった。

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

**JTOS** のバージョンアップについて質問があり、1 月末から 2 月頭に新バージョンがリリースされ現バージョンは 2 月末に使用不可になるとの回答があった。入力ミス防止については要望がそれなりに反映されたものとなるとの説明があった。

大政管理部長より第 21 回 NEC 杯の招待チーム助成基準について説明があった。

#### 8. 国際交流事業部

大政国際交流事業部長より **Yeh Bros** 杯の日本チームの参加枠が 3 チームであり、オープンとレディースを除いた 3 チーム目の選考方法を検討中であることが報告された。

#### 9. 法人・管理部

清水法人・管理部担当理事より過去 10 年間の **JCBL** 公認競技会の年間参加テーブル数の推移が報告された。**IMP** では大きく減少しているもののセクショナルでは増加し、全体では年間参加テーブル数はおおむね横ばいで推移していることが説明された。

第 5 号議案 その他議案

1. 次回の理事会開催について

次回理事会は 2017 年 3 月 24 日（金）午後 6 時 30 分に開催する。

当日配布書類：第 2 号議案 「会員の退会について（追加）」

第 3 号議案 「予算案総括表」

第 4 号議案 「NEC 杯招待チーム助成基準」

「連盟公認競技会参加者報告」

「JCBL 公認競技会の年間参加テーブル数の推移」

平成 29 年 1 月 27 日（2017 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 38 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 久保 公人

監 事 成田 秀則